美里町立励徳小学校 令和5年度 学校だより



自ら考え 進んで行動し 学び続ける 『キラリと光る励徳っ子』

夕焼けを美しいと思える心を持ちたい 第 21 号 R5.9.29発行 文責 永田 功臣

## 今年度前半を振り返ってみましょう

9月が終わろうとしています。早いもので今年度も 半分が過ぎました。来週末には、今年度初めての通知 表の配付を予定しています。いい機会なので、今年度 前半の自分を振り返り、後半に活かしていきましょう。

今年も感染症対策を施し ながらの行事の実施となり ました。「始業式」、「入学 式」に始まり、少しずつ地 域の方にも来ていただきな がら「茶摘み」や「運動会」



「田植え」と大きな行事がありました。その中で初め て経験することも多く、チャレンジすることで自信を

得た人も見うけられます。 上級生とかリーダーとかい う意識の高まりも見られま 🎹 した。特に企画委員会をは じめとした児童会活動は、

より主体的な活動になって



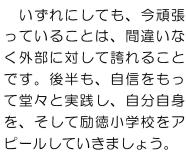
おり、自分たちで学校生活を高めていこうという姿勢

が見られます。今年度、子 どもたちに投げかけた「礼 トーク」という取組も自分 たちなりに工夫して実践し ていこうという意気込みを 感じています。



挨拶に関しては、地域や保護者の皆様から少し辛め の評価をいただいています。さらに、高い意識をもっ て相手に気持ちが伝わるように工夫していきましょ

う。企画委員もいろいろな 工夫をしてくれています。 声のトーン、表情、目線な ど意識すると、さらに気持 ちが伝わると思います。







## 公にうかうな ~キラリと光るために~

2学期の目標として令和5 年度版の「励徳プライド」を 示しました。その中に「発表」 という項目を入れています。 これは、励徳小学校の子ども たちを見ていて、感想交流等 をする際に堂々と発表できて いると感じたからです。外部 に対しても自信をもって、い つものように「発表」してく れればいいと思います。それ

表れキ もリ 野 ま お

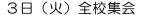
が「励徳プライド」、励徳小らしさです。

「暑さ寒さも彼岸まで」とうことわざの とおり、秋分の日をはさんだ一週間の彼岸 に合わせて、朝晩がいくぶん涼しくなってきました。 また、ヒガンバナも満開です。5・6年生と植えたヒ ガンバナは、来年には花を咲かせることでしょう。

さて、植物はどうして決まった季節に花を咲かせる ことができるのでしょう。考えたことはありませんか。 地球温暖化が進んできており、以前より暑さが増して きている感じがするので、気温だけではなさそうです。

そういえば、夜に人工的に光を当てて開花を遅らせ る「電照菊」のことを思い出しました。光が当たる 時間が開花に関係しているようです。秋分の日を境に 段々昼間の長さが短くなります。夕方も少し早く暗く なるようになってきました。みなさんも光と植物の開 化の関係についてちょっと調べてみましょう。

## 今後の行事予定



6日(金)通知表配付

10日(月)5・6年生下校時刻変更(~19日)

16日(月)稲刈り

20日(金)5・6年生小体連陸上記録会

24日(火)1・2年生見学旅行

26日(木)芸術鑑賞

31日(火)3・4年生見学旅行







